

第135回新生ふくしま復興推進本部会議
第41回福島イノベーション・コースト構想推進本部会議
合同会議 議事録

- 日時：令和5年12月26日（火）16：30～16：35
- 場所：危機管理センター災害対策本部会議室（北庁舎2階）

【鈴木副知事】

ただ今から、新生ふくしま復興推進本部会議、福島イノベーション・コースト構想推進本部会議の合同会議を開催いたします。

早速、報告事項の1つ目「令和6年度政府予算案等」、2つ目「復興・再生のあゆみ（第12版）」について、企画調整部長。

【企画調整部長】

資料1-1を御覧ください。22日に閣議決定されました、令和6年度政府予算案等について、本県からの提案・要望の反映状況を報告します。資料の左側は、本県からの提案・要望事項となり、右側に、政府予算の内容を記載しております。

政府予算対策については、国に対しあらゆる機会を通じて、知事を先頭に、本県の実情を丁寧に説明してまいりました。その結果、ALPS処理水の処分に係る対応や、避難地域の復興・再生、避難者等の生活再建、風評払拭・風化防止対策の強化、福島イノベーション・コースト構想の推進などの関連予算が盛り込まれております。8月の概算要求では事項要求とされた特定帰還居住区域に係る事業についても計上されております。

そのほか、復興特区税制の延長や震災復興特別交付税措置の継続に加え、防災・減災、国土強靱化の推進に係る予算も引き続き確保されるなど、本県の要望を踏まえた対応が図られております。令和6年度も切れ目なく、復興と地方創生を両輪で進めてまいります。

次に「福島イノベーション・コースト構想推進関連」予算について、資料1-2を御覧ください。要望に対応した各項目について、左側に要望事項、右側に予算案の主なものを記載しております。「研究開発等の推進・産業集積の促進」に関する事業など、福島イノベーション・コースト構想の推進に関する予算が計上されているほか、福島国際研究教育機構（F-REI）については、研究開発費のほか施設整備費を含めた予算が計上されております。

引き続き、国や市町村、関係機関等と連携しながら、福島イノベーション・コースト構想を推進していきます。

なお、令和6年度予算案の規模を踏まえると、令和7年度予算の財源が非常に厳しくなることが想定されます。

一方で、令和7年度予算は、第2期復興・創生期間後の取組につながる重要な予算になります。そのため、令和7年度の予算確保に向け、国に対して、財源フレームの見直しを求めつつ、事業の目的や必要性を丁寧に、粘り強く訴えていく必要があることから、引き続き各部局が連携して、しっかりと取り組んでまいります。

続いて、資料2-1の「復興・再生のあゆみ」をご覧ください。今年8月に発行した第11版を更新し、第12版としました。

表紙については、大熊町に完成した町立の教育施設「学び舎（や）ゆめの森」で、今年の8月25日に校舎の使用が開始されました。また、町内で13年ぶりとなるスポーツフェスティバルが同校グラウンドで開催され、子どもから大人まで、地域一体となって交流を深めました。

また、本資料の基礎資料となる資料2-2の「ふくしま復興のあゆみ」も併せて更新を行い、公表いたします。

【鈴木副知事】

今の説明に関して、何かありますか。
なければ、知事からお願いします。

【知事】

令和6年度政府予算案については、岸田総理大臣を始め、各省庁の皆さんには、福島県の実情を踏まえた対応をしていただきました。これは、各部長のリーダーシップの下で、全庁一丸となって福島県の現状を丁寧に訴え、予算確保に取り組んだ成果であります。皆さん、お疲れ様でした。令和6年度においても復興を着実に進めていくことができるよう、それぞれの事業にしっかりと取り組んでください。

一方、企画調整部長から説明があったとおり、第2期復興・創生期間の最終年度となる令和7年度の予算確保に向けては、極めて厳しい状況にあるという危機感の下で、取組を進めていかなければなりません。

あわせて、今後、第2期復興・創生期間後の財源フレームに係る議論についても本格化していくと思われまます。

部局長の皆さんにおいては、こうした状況をしっかりと認識し、早い段階からそれぞれの事業の精査や関係省庁との調整を進めるなど、引き続き、緊張感を持って取り組んでください。

【鈴木副知事】

以上で、合同会議を閉じます。